

民医連厚生事業協

共済だより

2026年
9月
第221号

発行所●全日本民医連厚生事業協同組合

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター6F
TEL03-5842-5650 FAX03-5842-5652

共済だより応募フォーム
[https://min-jigyo.aik-yuinowa.net/
kyosai-form/](https://min-jigyo.aik-yuinowa.net/kyosai-form/)

ホームページ:<https://min-jigyo.or.jp>
バックナンバーの記事(一部のみ)はこちらから



いわさきちひろ「十五夜の月」(1965年) (14ページに作品のコメントと美術館のご案内をしています)

主な記事

2026年度スポーツ文化企画 開催要項

全国野球大会にむけて4ブロックの出場チームが決定

第2回モルック全国大会 要綱(概要)のご案内

沖縄に連帯して

瀬長 和男(沖縄)

いま、なぜ憲法改悪なのか パートⅡ⁽¹⁵¹⁾

若手弁護士の会

縮図からみる世界⁽¹⁰⁰⁾ DC建設ラッシュはファシズムへの道か 斎藤 貴男

健康でいきいきと働きつづけられる職場づくりを 第六話

スポはじまる!!

2026年度
スポーツ文化企画
のお知らせ

※QRコードは2ページにあります。



沖縄に連帯して

玉城知事勝利は、高市政権の戦争する国づくりを止める力に



8月の辺野古県民大行動



6者共のスタンディング宣伝行動

今年の沖縄は台風の当たり年の様で、8月5日には台風13号に備えて、今年3回目の辺野古ゲート前テントの台風対策を行いました。台風対策は大変な作業ですが、台風が接近すると新基地建設がストップするため、工事が止まるうれしさも感じながら作業を行っています。

今年の沖縄は台風の当たり年の様で、8月5日には台風13号に備えて、今年3回目の辺野古ゲート前テントの台風対策を行いました。台風対策は大変な作業ですが、台風が接近すると新基地建設がストップするため、工事が止まるうれしさも感じながら作業を行っています。

船（SCP船）3隻が7月18日に大浦湾に戻ってきましたが、2隻は埋立て予定地の外側に係留され、1隻だけが係船機能付き護岸予定地に配置されました。しかし、全く作業をする様子はなく、その場所に留まっているだけでした。このSCP船は、作業能力にもよりますが、1隻のレンタル料金は1日あたり250万円から350万円と言われています。3隻が作業もせず大浦湾にいただけで、業者には1日800万から1100万円ほどが支払われていることになります。結局、この3隻のSCP船も7月30日には台風避難で移動したため、その移動の費用もまた、無駄遣いとなっています。昨年のように台風シーズンには地盤改良工事を行わないと決めれば、少なくとも移動の費用は減らすことが出来ます。「費用対効果」、公務であれば当たり前ですが、当然の考え方を防衛省

に徹底させるよう、納税者として声を上げていきましょう。

辺野古県民大行動が8月も開催され、辺野古住民の訴訟で原告適格を最高裁に認めさせた辺野古在住の金城氏も発言し、ようやく本当の裁判が始まるので、諦めず頑張っていこうと訴えていました。そのほかにも発言がありました。その多くが知事選挙を取り上げ、新基地建設阻止のためにも絶対に玉城デニー知事を勝利させようと誓い合いました。沖縄県統一連と沖縄民医連6者共（沖縄民医連内各法人と県連、労組で構成）は、那覇市前島の同じビル内にそれぞれ事務所を構え、知事選挙勝利のために奮闘しています。全国から支援者も駆けつけ、熱中症対策をして、頑張っています。

玉城知事勝利は、高市政権の戦争する国づくりを止める力になります。引き続き皆様のご支援をお願いします。

2026年8月4日
沖縄県統一連 事務局長 瀬長和男

◎カンパ送付先

郵便振替口座 加入者名：沖縄県統一連
口座番号：01710-8-62723

7月末、熊本日日新聞が陸上自衛隊の情報部隊による情報収集活動について大変重大なスクープを報じたことをご覧でしょうか。

1 陸自「現地調査隊」のスパイ活動

熊本日日新聞は、陸上自衛隊中央情報隊（朝霞駐屯地）の対外情報部門「現地情報隊」が、市民を対象に思想信条に関する情報を含む詳細な個人情報情報を組織的に調査・収集している実態を、元隊員が証言したと報じました。

「現地情報隊」という組織は、自衛隊の中で唯一、人的情報収集活動をする専門部隊で（規模は50～60人）、自衛隊が海外派遣される際、派遣部隊より一足先に現地入りし、現地の人の協力者を獲得して情報を収集する、という本来は海外での情報活動を任務とした部隊とのこと。しかし実際には隊員の大半が国内で市民の個人情報情報を収集しているということです。活動の概要は、自衛隊が想定している派遣先に関して知識・人脈がある一般人（例えばその国の政治や社会の研究者・大学教授やNPO法人の関係者など）への接触計画を作り、徐々に親しくなっていくというものです。個人情報情報の収集と保管について対象者の同意は得ていないどころか、自衛隊員であることを完全に隠して接触するケースもあるため、中に

シリーズ

いま、なぜ憲法改悪なのか パートII

⑮ 陸上自衛隊「現地調査隊」の情報収集活動 ～熊本日日新聞の驚愕のスクープ～



「明日の自由を守る若手弁護士の会」共同代表
公式ブログ <https://www.asuno-jiyuu.com/>

黒澤いつき



は「どこでどのように情報を取られたのか分からない」と話す人もいます。

なんら法的根拠もなく、対象者の同意を得ずに個人情報情報を収集するまぎれもないスパイ行為が、防衛大臣に知らされない形で自衛隊が進めていたという衝撃的な報道です。同盟国の軍事行動に参加しうる事実上の戦力と化した自衛隊に対して、民主的統制（シビリアンコントロール）が及ばなくなっていると言わざるを得ません。

2 詳細な個人情報情報の吸い上げ

さらに驚くべきは、収集された個人情報報は住所や学歴・経歴のみならず、「対日本感情」「対自衛隊感情」「思想・信条」「資産負債」「異性関係」「性的嗜好（原文ママ）」にまで及び、詳細な外見の特徴まで記載されているということです。証言した元隊員は本来収集する必要性はない情報であるという認識を示していました。極めて私的な個人情報情報を「弱み」として国家権力に握られれば、強力な萎縮効果を生むことは容易に想像できますし、自衛隊の協力者（情報源）になり得る人物かを見極めるために内心や思想を探っていた可能性は否定できません。なのであれ国家権力による甚大なプライバシー侵害である上に、心の中を探る行為は思想弾圧につながりかねません。

3 小泉大臣の「低い」意識

この報道をふまえ、現地情報隊の活動について記者会見で質問された小泉防衛大臣は、「現時点で不適切な活動を行ったことは確認されていない」「（活動内容の詳細は）収集能力を明らかにする恐れがあるため差し控える」という無味乾燥な回答に終始しました。ことの重大性を理解していない低い危機意識や、これまでも自衛隊がくり返し市民を監視し個人情報情報を吸い上げてきたことへの反省がまったく見えないことが受けられます。大臣に知らないところでの勝手なスパイ活動を、大臣（ひいては主権者国民）への侮辱となぜ考えないのでしょうか。

4 国は徹底した調査を！

首相、防衛大臣、与党は一刻も早く本件についての徹底した調査を実施し、個人情報保護法はじめてする法令遵守を徹底させる必要があります。凄惨なパワハラ・セクハラ事件も相次ぐ自衛隊という組織全体においてそもそも「市民の人権を侵してはならない」という意識が薄いことも感じられ、人権や憲法についての教育・研修体制も見直すべきです。

シリーズ 縮図からみる世界【100】

斎藤 貴男



DC建設ラッシュはファシズムへの道か

重大な社会問題になってきた。このところ全国的に拡大している「データセンター（DC）」建設ラッシュのことである。

DCに明確な定義はない。機能の進化が目まぐるし過ぎるためだ。敢えて言えば、企業や官公庁などが保有する膨大なデータの管理や処理を目的に、サーバーや通信機器を集約・運用する施設、といったところか。

DCは普通の建物と違う。ひたすら巨大で、窓が極端に少ない。高度なセキュリティや冷却効率が必要だからというのだが、近隣住民が強いられる圧迫感は計り知れない。景観や日照権の問題はもちろん、騒音、大量の電力や水が消費されることの悪影響、強力な電磁波や廃熱による気温上昇等が引き起こす健康被害の危険性も指摘されている。

東京都昭島市、日野市、江東区、埼玉県さいたま市、茨城県つくば市、千葉県印西市、富山県南砺市……。各地で激しい反対運動が展開され始めたのは、しながつて当然だ。多くの場合、しかし建設側は不誠実な対応に終始。法整備が追い付いていないのをよいことに、強引な態度ばかりが目立つ。海外の投資家らの狙いも、まさにこの点にあるようだ。

日本だけの問題ではない。DCラッシュも住民軽視も世界的な傾向だ。近年になってようやく、世界最大のDC集積地として知られる米国バージニア州で、公聴会の開催や郡議会による政治判断が義務化されたという。日本ではこのほど、各地の住民団体が参加する「都市型データセンターあり方検討会」が、国による法規制を求める署名を国土交通省に提出した。

ほんの少しずつではあるものの、事態の改善に向けた曙光が見えてきた感じもなくなはない。ただし油断は禁物だ。

米国では一方で、DCへの反対運動が「反テック過激主義」と見なされ、テロ組織などと同様の取締り対象とされる懸念が浮上しているらしい。DHS（国土安全保障省）やFBI（連邦検察局）が協働でまとめた報告書の内容が、一部メディアで暴露されたのだ。

現代の世界を支配している新自由主義イデオロギーとIT、AIカルチャーは、実に親和性が高い。日本でも近い将来、DCに「聖地」とか「霊山」のような位置付けが与えられていく恐れなしとしない。そのような事態は、すなわち圧倒的なファシズムだ。

許されてはならない近未来である。

斎藤 貴男（さいとう たかお）

1958年東京生まれ。早稲田大学商学部卒。英国バーミンガム大学大学院修了。主な著書に『驕る権力、煽るメディア』『決定版 消費税のカラクリ』『いちばんたいせつなもの』『マイナンバーが日本を壊す』『マスゴミって言うな！』『こんな部活あります 正射必中！弓道部』（2024.3）など。



十五夜の月と子どもたちが描かれたちひろの代表作です。深みのある青緑の夜空と地面に映る子どもたちの長い影が夜空を照らす月の明るさを表現しています。子どもたちの愛らしい仕草からは、ひとりひとりの個性が感じられます。今年の中秋の名月は9月25日。美しい満月を眺めながら素敵な時間をお過ごしください。



●ちひろ美術館・東京では、「ちひろ 子どもは平和のシンボル」展を10月25日まで開催します。同時開催：武田美穂展 絵本づくりはドキドキなのだ！

●安曇野ちひろ美術館では、「いわさきちひろと堀文子 童画の世界」展を9月11日から12月15日まで開催します。同時開催：「絵本の舞台を訪ねて 赤羽末吉の日本一周」／ちひろ美術館コレクション「波にゆられて舟の旅」展

〈イベント情報〉

高橋真樹講演会「もしも君の町がガザだったら」

日時：10月4日（日）14：00～15：30

会場：ちひろ美術館・東京

定員：40名 参加費：1000円（入館料別）

オンライン 定員：100名 参加費：700円

申し込み：要事前予約（9/4より公式サイト、TELにて）

ちひろ美術館・東京 TEL.03-3995-0612

安曇野ちひろ美術館 TEL.0261-62-0772

開館情報はホームページをご確認ください。

<https://chihiro.jp/>

